

2010年1月14日

J S A F 外洋加盟団体 各位殿

J S A F 常務理事 児玉萬平
外洋総務委員会委員長 鈴木保夫

外洋全国総務委員会開催について

先般ご案内したとおり外洋総務委員会を下記の通り開催致します。
正式なご案内が遅れたことをお詫び致します。

日時 2010年1月24日(日) 10:30~15:00(予定)
場所 国立代々木競技場会議室(別紙案内図参照)
http://www.naash.go.jp/info/annai_yoyogi_zentai.html

議題

- 1) 外洋艇登録規則の運用見直し
- 2) 外洋特別会計
- 3) VHF 通信
- 4) 報告事項(安全規則の改定・IRC委員会報告他)

1)、2)、の関東水域(案)の概略については添付資料の通りです。
関東水域以外の皆様のご意見を是非伺いたいと考えております。
尚、当日出席できない方につきましては、事前にご意見を頂けるようお願い申し上げます。

添付資料

2010年1月13日

「外洋総務委員会議事経過概略」

外洋総務委員長 鈴木保夫

外洋総務委員会において現在の艇登録規則の見直し、会計、レースについて検討しました。

検討過程は議事録の通り、検討に当り関東水域の4加盟団体の会長、及び関係者に委員会に出席頂き、外洋総務委員会及び関東水域の（案）として纏めました。

（艇登録規則の見直しについて）

- 1、現在、登録艇のデータベースが無いので早急に作成する。
- 2、登録料の徴収は初年度のみとし、更新料の徴収は行なわないプランについて検討したが、2年目以降にオーナー会員が加盟団体から脱退することが予想されるため、従来通りに毎年更新する方向で検討することとする。
- 3、現在使用していないセール No については確認した上で希望者に艇登録料に特別料金を上乗せして希望者に発行する。
具体的な運用方法については総務委員会と事務局で纏める。
- 4、登録艇を増やすためにも、現在実施を見合わせている特別加盟団体からの艇登録については、今後実施して行く。

（外洋特別会計について）

中距離以上の外洋レースを活発化させるためには JSAF が加盟団体を支援する必要がある、そのためには現在の会計処理方法では限界がある。

使用目的が指定された寄付金を募集するためにも外洋特別会計を設置することを検討して行く。

（関東水域のレースについて）

最近レースの数が増えたため、レースの日程が重なったりして参加艇が少ないレースがある。

各加盟団体と協議した結果、参加し易い日程とし「トラディショナルシリーズ」としてシリーズレースとする。

平成22年度外洋艇推進グループ予算(案)

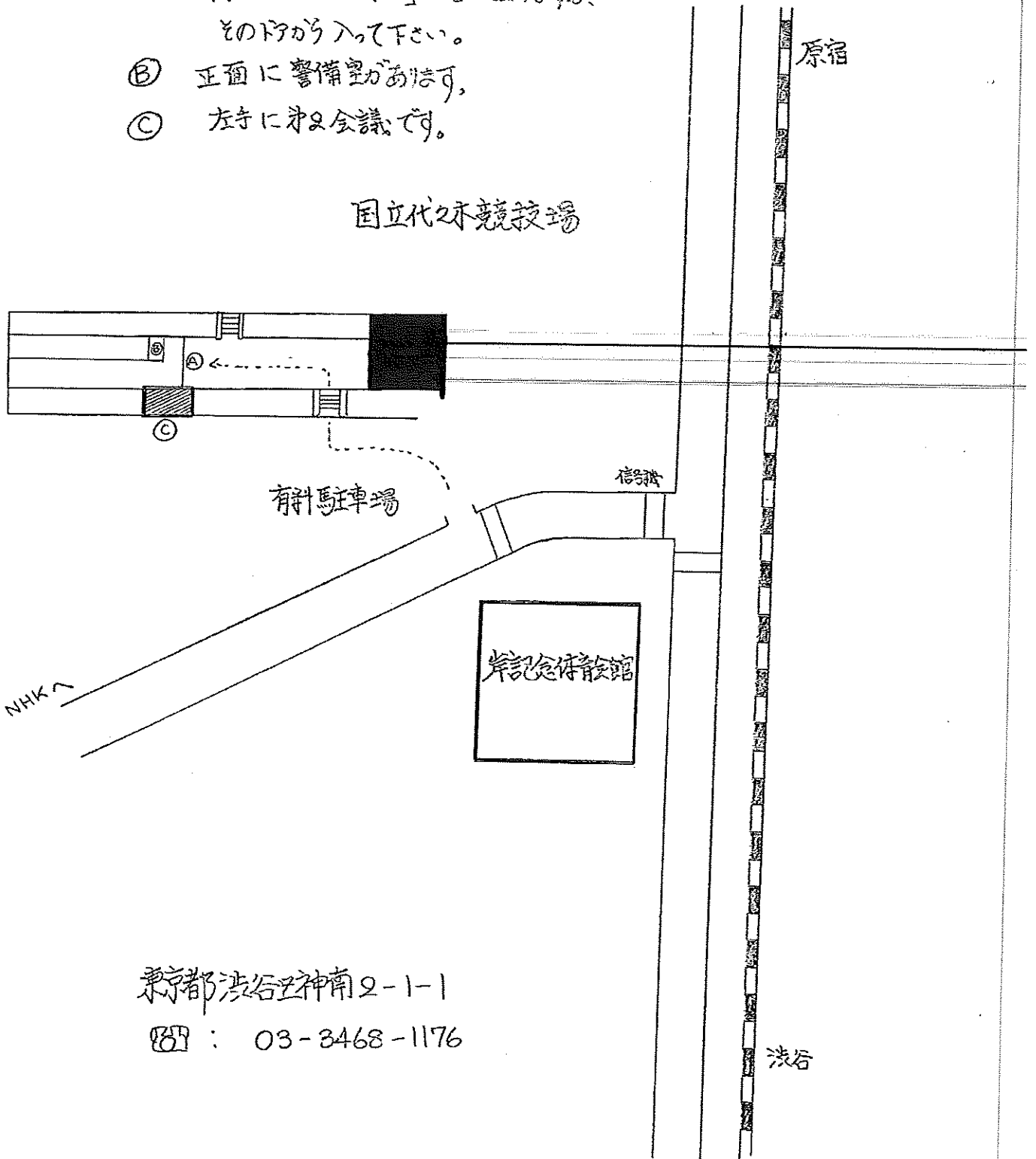
収入

委員会	科目 適用	H22予算 (単位:千円)	H21補正 (単位:千円)	増・減 (単位:千円)	科目 適用	H22予算 (単位:千円)	H21補正 (単位:千円)	増・減 (単位:千円)
外洋総務委員会	モバイル寄付金(ジャパンカップ)	0	1,500	-1,500	外洋レース支援(ジャパンカップ等)	2,000	1,500	-500
	外洋艇登録料	2,800	2,800	0	旅費交通費・通信費・会議費	600	500	-100
	免税募金繰入収入	2,500	0	2,500	ISAF・ORC総会旅費	300	300	0
					外洋レースマネジメントマニユア その他(統括業務)	0	200	200
	小計	5,300	4,300	1,000	小計	4,300	3,000	-1,300
外洋計測委員会	IRC証書発行	8,000	5,000	3,000	RORCレビ支払	3,600	7,400	3,800
	IRC事業収入(計測料・広告など)	2,300	2,500	-200	業務委託 RatingOffice証書発行 計測員計測費	2,600		
					その他(国際会議・講習会など)	2,000		
	小計	10,300	7,500	2,800	小計	10,265	7,400	-2,865
外洋安全委員会	講習会料	1,400	300	1,100	外洋安全会議など	2,000	300	-1,700
	海洋局登録料	0	50	-50	外洋通信会議など	0	300	300
					小計	2,000	600	-1,400
	小計	1,400	350	1,050	小計	2,000	600	-1,400

支出

(別紙)

- ① ガラス自動ドア
「関係者以外立入禁止」と書いてありますが、
そのドアから入って下さい。
- ② 正面に警備室があります。
- ③ 左手に茅又会議です。



東京都渋谷区神南2-1-1

TEL : 03-3468-1176